

2019年6月28日

【お知らせ\_電気泳動第63巻2号の J-STAGE からの公開】

日本電気泳動学会  
会員の皆様

本日、学会機関誌「電気泳動」の第63巻2号が J-STAGE（電子版）に掲載されましたので、お知らせ致します。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/electroph/-char/ja/>

電気泳動 (Electrophoresis Letters) 2019; 63(2):31-61

第69回日本電気泳動学会総会シンポジウム：様々な翻訳後修飾にせまる電気泳動

- 1) Phos-tag™ SDS-PAGE を用いた Rab リン酸化の解析  
伊藤弦太, 富田泰輔
- 2) 一電気泳動による翻訳後修飾の解析—タンパク質レチノイル化の機能解析に関する新展開  
高橋典子, 今井正彦
- 3) O-GlcNAc 化蛋白質の検出と定量的解析を可能にするレクチン親和性ゲル電気泳動法の開発と応用  
久保田裕二, 藤岡 興, 武川睦寛
- 4) 全自動マイクロチップ電気泳動装置を用いる糖鎖のハイスループット解析  
木下充弘, 山本佐知雄, 鈴木茂生
- 5) 分子マトリックス電気泳動で解明する唾液腺ムチンの老化に伴う変化  
亀山昭彦, 松野裕樹, 飯田真由, 丸山光生, 渡邊 淳, 山越貴水

なお、日本電気泳動学会では学会機関誌への論文投稿を広く募集しております。  
会員の皆様の積極的なご投稿を期待しております（正会員及び準会員であれば、投稿料は無料です）。

日本電気泳動学会  
編集委員長  
木下 英司

簡単操作！高再現性！



**Auto2D Plus**

自動2次元電気泳動装置

<特長>

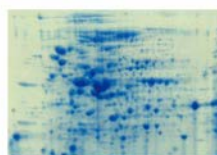
- 1 ゲルへの導入効率向上\*
- 2 最大アプライ量の増加\*\*
- 3 サンプル前処理の簡略化（脱塩工程）\*\*
- 4 時間短縮\*：最短約 60 分\*
- 5 自動染色が可能\*\*

\*1 弊社従来装置（Auto2D）との比較  
\*2 別途、ろ紙を必要とする場合があります。  
\*3 条件により変動します。  
\*4 別途、ラベル化試薬にあった検出器が必要です  
脱塩工程が使えなくなります。

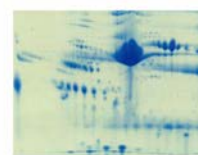
希望小売価格 5,000,000 円（Auto2D 本体）  
750,000 円（アップグレードソフト代）



Auto2D Plus を使用した電気泳動結果



MLL 100 $\mu$ g



血清 2 $\mu$ L

シャープライフサイエンス株式会社  
東京都江東区東陽 4 丁目 10 番 4 号 東陽町 SH ビル 2 階  
TEL : 03-6666-3508  
URL : <https://www.slsjp.co.jp/>

## 日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋（株）  
（株）島津製作所

日本エイドー（株）

富士フィルム和光純薬（株）

シャープライフサイエンス（株）

癸巳化成（株）

ナカライテスク（株）

バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)

(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン

コスモ・バイオ（株）

（株）ナード研究所

（株）ヘレナ研究所

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局（[secretariat@jes1950.jp](mailto:secretariat@jes1950.jp)）宛に  
お願いいたします。